

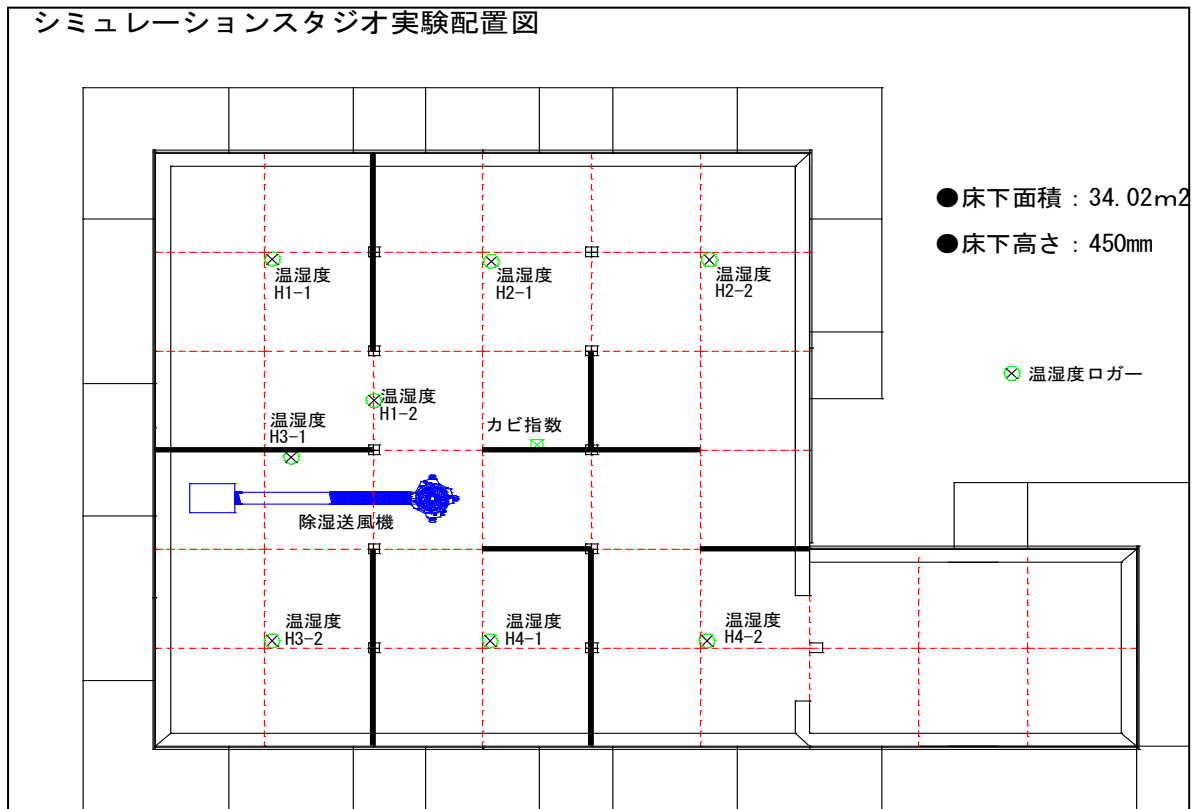
宛先	殿		1 4
文書分類	<input type="checkbox"/> 営業、技術、管理、製造、企画、議事録、出張 <input checked="" type="checkbox"/> 資料、設計検討、試験、品質管理、() <input type="checkbox"/> 計画書、報告書、依頼書、連絡書、指示書 [該当するものに○を付けて下さい]	特記事項	[重要度・緊急度・販売先、適用機種等]
題目	攪拌型除湿送風機（ドライプロ） 床下基礎パッキング工法 効果実験報告書		

【実験方法】

一般住宅の基礎パッキング工法時において湿度が高く、換気不足を想定した条件(測定前に加湿処置等)で除湿送風機の有無での床下の湿度及びカビ指数を計測する。

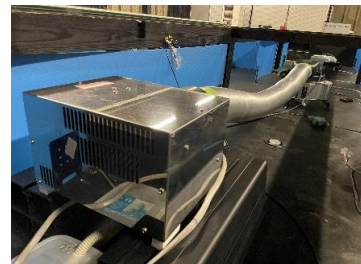
- ・試験日/場所:2022年6月21日~/床下シミュレーションスタジオ(約10坪)
- ・測定器:ワイヤレス温湿度データロガー HIOKI製 LR8514 測定数8ヶ所
ワイヤレス予測カビ指数計 HIOKI製 LR8520 測定数1ヶ所
メスシリンダー(class-A) 100mL 柴田化学製

●機器設置レイアウト 基礎パッキング工法(攪拌型ドライプロ設置)



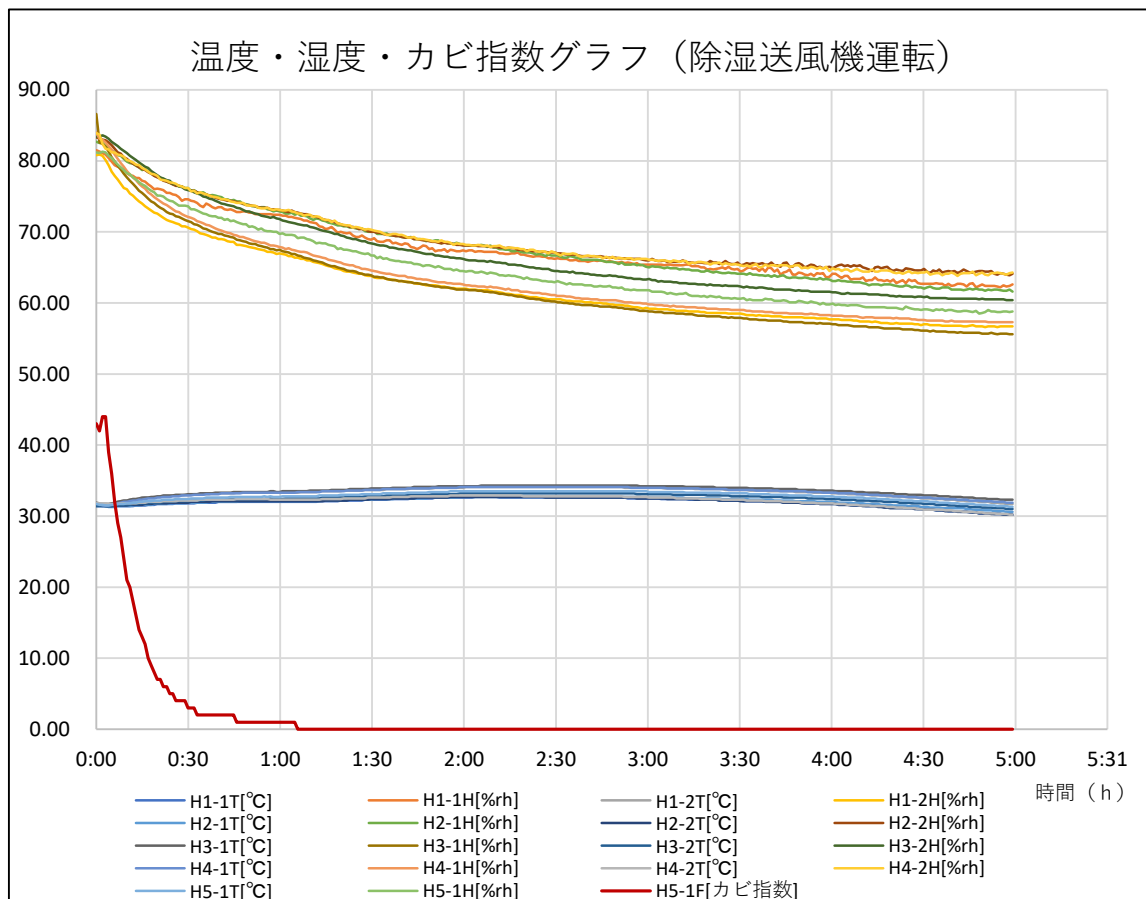
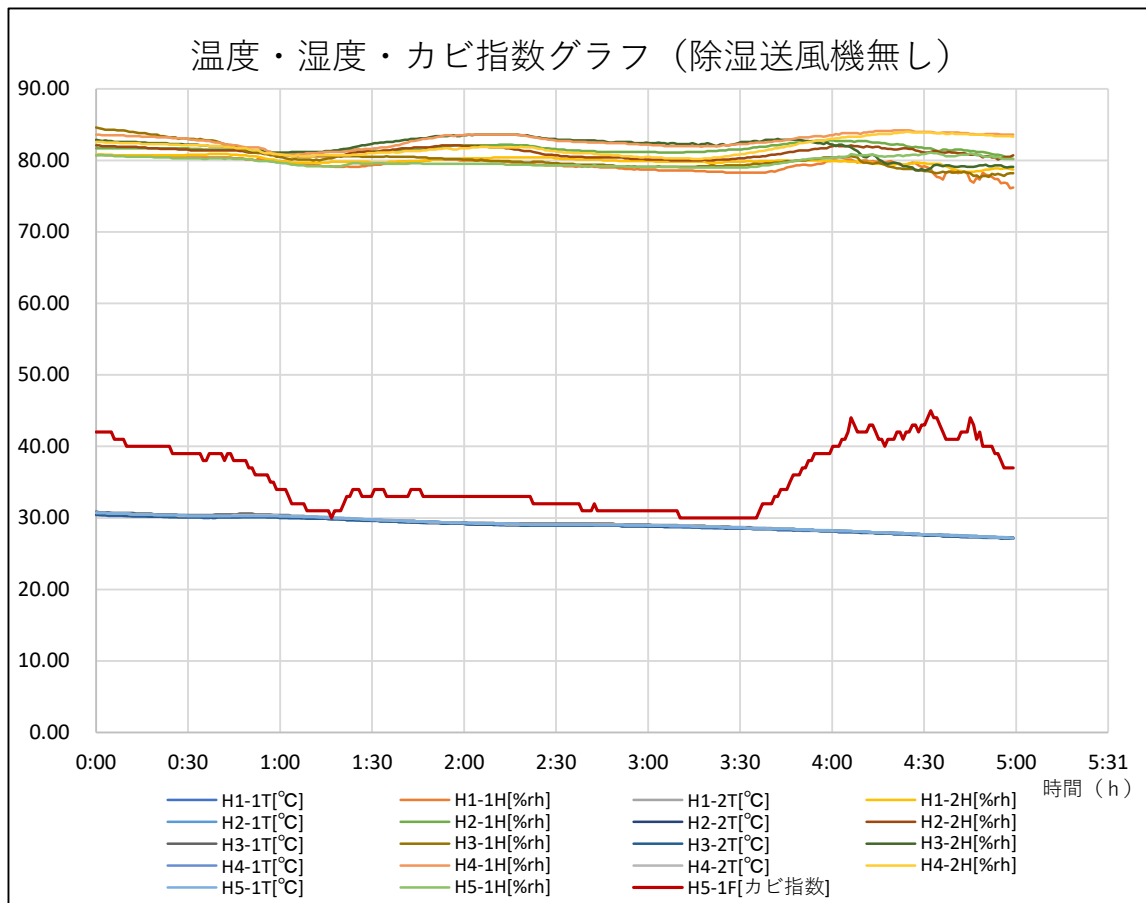
配布先	
×	
×	
×	
×	
×	
×	
×	
×	
控え×	

攪拌型除湿送風機 (ドライプロ)



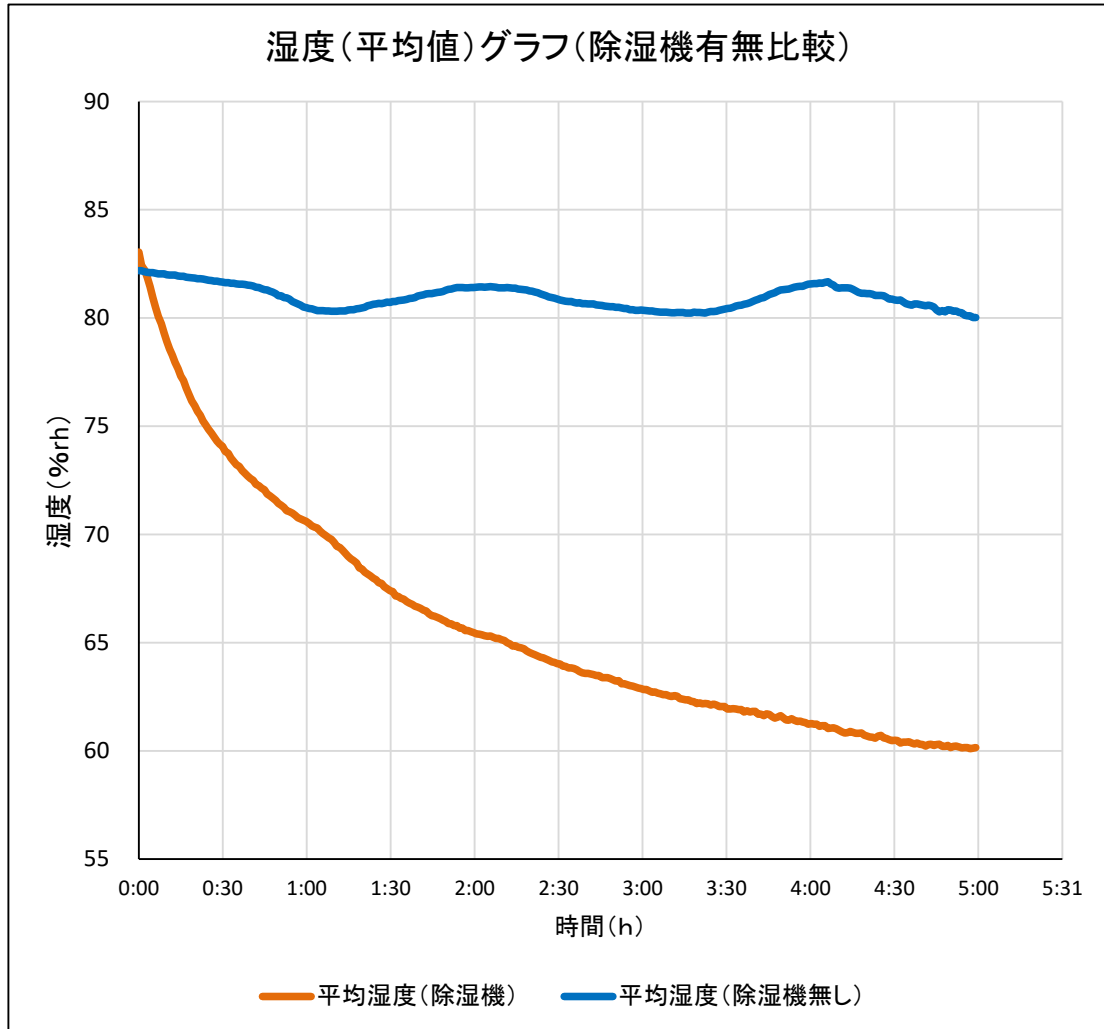
 セイホプロダクツ株式会社	承認	点検	点検	作成	作成部署	備考
				 2022.7.22	技術開発本部	

【実験結果 詳細データ】



【実験結果及び考察】**●湿度データ**

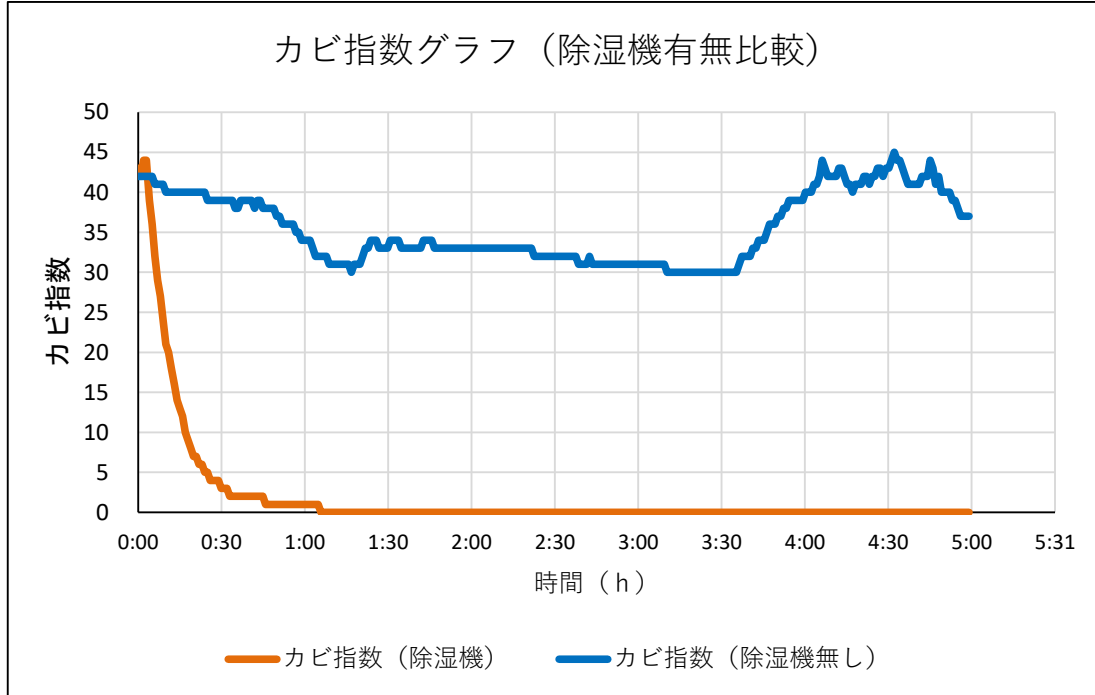
- ・除湿送風機設置時の床下は平均値湿度83%から徐々に低下し5時間後に湿度約60%の除湿を確認。
(実験時除湿機総除湿量212mℓ)
- ・除湿送風機無し時の床下は平均値湿度82%から80%の間を推移し、大きく湿度が変化することはなかった。



【実験結果及び考察】

●カビ指数データ

- ・除湿機設置時の床下はカビ指数44から急速に低下し約1時間後には0となり、カビが汚染するリスクは極めて低い環境を確認した。
- ・除湿機無し時の床下はカビ指数が42から45を推移し、カビが汚染するリスクが大きい環境を確認した。



※「カビ指数」とはカビの発生しやすさを予測する指標で0～200で表され、環境生物研究所所長 農学博士 阿部恵子氏により提唱された指標。
(文献:カビ指数による室内環境評価、防菌防黴、第29巻、9月号 pp.557-566(2001年))
※カビ指数値「20～50」はおおよそ4ヵ月から1年以内にカビの汚染が始まる環境の目安期間。

●考察

一般住宅基礎パッキング工法の床下で問題になる事が多い床下中央部でのカビや結露問題に対し、床下面積約10坪の範囲で除湿やカビ予防の効果が確認された。
よって、一般的な基礎パッキング工法住宅で床面積20～30坪程度において、床下の換気が不十分な為に床下中央部に湿気・結露・カビの問題が発生した住宅には床下中央部へ攪拌型除湿送風機を設置する事で環境改善の効果があると思われる。(換気状態が悪い条件ほど除湿機設置効果が大きくなる)

以上